
スマブラXメンバーで逃走中

怪盗S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラXメンバーで逃走中

【Nコード】

N7018W

【作者名】

怪盗S

【あらすじ】

突如、作者の思いつきで始めた（スマブラメンバーで）逃走中！
さあ誰が賞金108万円を獲得するのか？

はじめに（前書き）

初作品なのでお手柔らかにお願いします。

はじめに

作者の家。(ほぼ実話w)

作者：ひま……。 (ピンポーン)

作者：あつ、そうだ逃走中でもやろう！

????：(逃走中もって……。)

作者：まあ別にいいでしょ

????2：じゃあ連絡とろうか？

????：まてまてまてい！

作者：何？— (怒)

????：いや、だって、ほら……

作者：……。 (怒)

????：イヤ、ゴメン。

作者：じゃあ連絡とって。

????2:了解です。

と、そんなこんなで

????2:終わったよ！

????:(不安・・・。)

作者:なんとかなるさ

????:・・・。

はじめに（後書き）

とうとう始めてしまいました。文句とかも書いて結構です。
だって、それだけ見てくれたって事ですから。

メンバー紹介（前書き）

え、メンバー紹介です。

メンバー紹介

逃走者―（作者の独断w）

マリオ（速さ）H

（スタミナ）S

（頭の良さ）A

ルイージH

A S

ピーチH

A S

クッパH

A S

ワリオH

A S

ヨッシーH

A S

ドンキーH

プリン

リザードン

フシギソウ

ゼニガメ

レッド

ピカチュウ

ディン

A S H

A S H

A S H

A S H

A S H

A S H

A S H

A S

フォックス

H

A S

ガノンドロフ

H

A S

トゥーンリンク

H

A S

ゼルダ

H

A S

リンク

H

A S

ナナ

H

A S

ポポ

H

A S

ルカリオ

H

		ピット		ウォッチ(省略)		ロボット		ネス		リュカ		ウルフ		ファルコ		
A	S	H	A	S	H	A	S	H	A	S	H	A	S	H	A	S

ハンター

H

と半分

ソニック

H

A S

スネーク

H

A S

ファルコン

H

A S

サ姆斯(ゼロ)

H

A S

アイク

H

A S

マルス

H

A S

オリマー

H

A S

A S
と半分 と半分

賞金 108万円

場所 ライトダークフォレスト

ボウシティ

その他

作者・・・作者です。企画・進行・機械管理担当。

spark・・・作者の知り合い。牢獄の話し相手w

カービィ・・・一応、協賛代表。(ププブランドの)

ライ・・・ライトダークフォレストの主。食いしん坊。

クロウ・・・ライトダークフォレストの主。冷静。

ボウ・・・ボウシティに住むボウ人間。運がない。

???・・・悪役。逃走中を終わらせようとしている。

メンバー紹介（後書き）

まあ、メンバーはこんな感じです。

オープニングゲーム前の雑談（前書き）

いきなり集められたスマブラメンバー（逃走者）。さて、逃走中の幕開けだ！

オープニングゲーム前の雑談

ここはライトダークフォレスト。作者の知り合いの鳥、ライとク
ロウが住んでる森。

作者：では、早速オープニングゲーム始めよっか！

マリオ：待て待て待てい！雑談とかなしか！

作者：あ、忘れてた。じゃ、質問とか。

ピット：はいはい、作者。

作者：何か？

ピット：その二人誰？

作者：いい質問ですね〜。

ファルコ：・・・古いな。

作者：えーと、こっちが私の知り合いでs p a r k。

s p a r k：どうも。

作者：で、こっちはカービィ。

マリオ：ちょっと気になってたんだけど、カービィ達って逃走中出
ないの？

作者：実は、材料費・電気代・人件費・移動代・その他色々を全部！なんと！デデデ大王が払ってくれたのです！

カービィ：あのけちな大王がよく払ったよね。

spark：同感。

作者：あと皆にはこのリングを着けてもらっからね。

レッド：これは？

作者：これは、ゲームや電話にもなるし、通行証にもなる優れもの！今ならコレをピーーーー円で販売します！

作者と姫以外：高いよ・・・

作者：まあ、コレ貸し出しだからw

ピーチ：コレじゃあ、5つ買っわ！

ピーチ以外：だから、貸し出しだって！（ある意味天然？）

ピーチ：ちなみに道具って使用有り？

作者：うーん、一部有り。

ルイージ：まあ、ピーチ姫が武器持ったら最強だもんねw

ピーチ：（怒）

バコーン!!!!!!!!!!!!!!

ルイージは一億五千万のダメージを受けたw
ルイージは倒れたww

????この逃走中を終わらせてやる……。

オープニングゲーム前の雑談（後書き）

こんなクズ作品見て下さりありがとうございます！いや〜ルイージ始めっからやられましたね〜。（ルイージファンの方ごめんなさい。）最後に怪しい人物が出ましたけど、次回はいよいよ逃走中スタートです！

今度こそ、オープニングゲームだ！（前書き）

今回は（ちゃんと）オープニングゲームします。

今度こそ、オープニングゲームだ！

作者：誰からやる？

全員：作者が決めるんじゃないの！？

ディディー：これから見始める人は意味わかんないと思うけど・・・。

作者：それよりも決めて始めよう！

10分後

1 番目 リンク

リンク：とりあえず・・・緑！

マリオ：緑といえばルイージが引いてハンター放出がオチだけだな。

作者：（図星。）

リンク：じゃあ、深緑で！

セーフ！

ネス：今の誰？

リンク：先逃げてますね〜！

2 番目 ピーチ

ヨッシー：ピーチ姫がんばっ
セーフ！

ピーチ：じゃあお先に〜

そのころ別室で

作者：で、誰が最初に確保されると思う？

ライ：僕はやっぱり緑のやつ！

ヘックション！！

ルイージ：誰か噂してる・・・。

クロウ：俺は案外ゼル伝のキャラかな。

spark：いや、意外にえっと、クッパは？

カービィ：違う違う、あの調子だとピーチ姫だって！（もう出たから。）

作者：私は知ってるから言わない。

3 番目 クッパ

s p a r k：おつ、クッパだ。

クッパ：我輩は・・・黒。

子ども達：悪役、悪役、あくや

クッパ：うるさい！それじゃあ引くぞ・・・

ガチャン

クッパ：あ。

全員：逃げろーっ！

s p a r k：よし、そのまま確保！

クッパ：！

ガノンドロフ：へっ、ざまあみろ！
ポン。

ガノンドロフ：へっ？

spark：うそ・・・。

作者：って事で、クロウの勝ち！

ブルルルル・・・

マリオ：ガノン確保・・・。チエ、クツパじゃないのか。

ピーチ：？あれはアリなのかしら・・・。電話しようっと。

クツパ：へっ、ざまあ見る！

今度こそ、オープニングゲームだ！（後書き）

次回はクッパが逃げれた秘密が明らかに！

作者の失敗。(前書き)

Q どうしてクッパは逃げたの？納得いかない。(マリオ)

ガノンドロフはクッパよりも速くスタートした。なのに、なんでクッパの方が速いのか。しかも、証拠がないし・・・。
計2つの苦情により逃走中本部は急ぎよ、ビデオ判定をした。

作者の失敗。

作者：じゃ、流すよ。

そこには、逃げるクッパがスローで映し出されていた。

クッパ：「！」

全員：あ！

その瞬間、クッパはスパイクボールになった！（知らない方はマリオ&ルイージRPG3を検索で。）

spark：速つ……。

そのままガンドロフを抜き、クッパは去っていった……。

作者：あ、忘れてた。

作者以外：……は？

作者：よく考えたら「武器は使ったらダメ」しか書いてなかったね。

ちよつと貸して。

作者はリング（携帯）に文字を打ち込み一斉送信をした！

クロウ：いい加減こいう　RPG的なやめたら？

ピーピーピーピーピーピー

ピット：…うるさい！

ポポ：えつと・・・。

「お詫び」

レッド：え？お詫び？

「じゃなくて通達」

「ルール変更。技使用有り。ただし、アイスクライマーのハンマーやスターフォックスなどの銃はもちろん禁止なので。じゃ、頑張つてね。」

マリオ：最後軽っ！

ドンキー：この作者不安だな。

デイディー：まあいいじゃん。技使えるし。

この二人（二匹？）正反対の性格なのである。

ピーピーピー

ウルフ：うるさい！

それもう聞いたから。

「ミッション1

ハンター放出を阻止せよ！

残り82分になると5体ハンターが放出される。

なお、ミッションに参加するのは君達の自由だ。」

次回、ミッション1。

作者の失敗。(後書き)

作者：クツパ、ああ見えて頭いいかも分かりませんね。

クツパ：我輩の扱いひどいのだ！それに、「ああ見えて」は余計なのだ！

ナナ：あ、それダチ　ウ倶楽　がやってた！

クツパ：・・・。

初めてのミッション（前書き）

今回はミッションーがついに始動！ミッションに行くのは誰だ！

この後、ガノンは説教ととびひざりV3を受けた・・・。

????。

????：始まったか・・・。まあいい、まだ時間はある。

????2：楽しみです。ボス。

????：バカ言え、俺のことはボスと呼ぶな！

逃走者。

デイディー：ドンキー、ミッション行く？

ドンキー：いや、行かない。（キッパリ）

デイディー：僕は行こうかな。じゃ、また後でね。

マリオ：俺行こつと。

ピーチ：まだ、行かないことにします。

Q、どうしてですか？

ピーチ：さっき見たんです。あれは確かに

そうこうしている間に、えっとソニックが1つ解除。
そして、ああフシギソウが解除。

s p a r k : んなもん知るか。

ガノンドロフ：おい、ウソを言うんじゃない！ウソを！
ピッ

ガノンドロフ：（切りやがった！）

逃走者。

マリオ：にしても見つからないなあ・・・。

ピピピピピピピピピピ

「途中結果。現在ソニック、フシギソウが1つずつ解除。残り3つ。」

ー

ソニック：楽勝だぜ！

フシギソウ：目の前にあった。ラッキー。

ポポ：僕ってすぐに捕まるから、もうミッション行こう。

ウルフ：あっそ。

ポポ：ねーねー、ウルフも行こうよー。

ウルフ：俺は行かないって、オイ！服掴むな服！

ネス：行こう。

マリオ：クッソ、どこだ？

ハンターボックス残り3つ

次回、確保者登場？

初めてのミッション（後書き）

作者：えっ、そうなの？

ピット：知らないよ！

ガノンドロフ：黙れ、小僧・・・。

s p a r k：もう一回アレやろうか？

ガノンドロフ：いえ、それだけはお勘弁を！

全員：（何があっただ・・・。）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7018w/>

スマブラXメンバーで逃走中

2011年11月23日14時55分発行